

農業がつなぐ人と人、地域と地域

美郷町のグリーン・ツーリズム

美郷町総合計画「後期基本計画」では、将来の美郷町のために特に力を入れる施策を、まちづくり戦略プロジェクトと位置付けています。その一つである「交流促進プロジェクト」では、美郷町の豊饒な大地からの恵みと風光明媚な自然、笑顔あふれる人々、これらの誇れる資源を全国に発信すること、さらに人々が集い、ふれあい、活気あふれるまちをつくることを目指しています。

グリーン・ツーリズムとは、農山漁村地域において農作業体験や地元の人との触れ合いを楽しむ滞在型観光のことです。美郷町では、平成21年に美郷町都市農村交流推進協議会（吉方和衛会長）が設立され、現在、22戸の農家が修学旅行生などの受け入れを行っています。

5月16日には仙台市立沖野中学校2年生38名が、5月20日には六郷高校1年生103名が、いくつかの班に分かれて美郷町内の農家を訪問し、野菜の収穫などの農作業を通じて農家の方々との交流を深めました。また6月には友好都市である東京都大田区の消費者を

対象とした農業体験ツアーの実施を予定しています。

グリーン・ツーリズムの魅力は、単に観光地を巡るツアーとは違い、地元の人とのふれあいや実体験により、深く大きな感動を手に入れることです。また、都市部との農作業・宿泊体験を通じた人的交流により、町に活気をもたらします。

受け入れ農家からは「子どもたちから元気をもらった」と好評です。農家の皆さんの生活スタイルがそのまま体験素材になります。グリーン・ツーリズムを通じて地域を盛り上げてみませんか。



ホストファミリーになってみませんか？

農業体験や民泊の受け入れにご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

問い合わせ●美郷町都市農村交流推進協議会事務局(美郷町農政課内) ☎0187(84)4908

体験を通じて

農業体験を行った六郷高校1年生と仙台市立沖野中学校2年生の皆さんにお話を伺いました。



仙台市立沖野中学校2年
加藤 洋平 さん

「畑作業をしたり農業機械に触れたり、普段できない新鮮な体験をすることができました。受け入れ農家の方も暖かく迎え入れてくれるなど、いろんな方と交流できたのがいい思い出となりました。今回の経験を糧にこれから飛躍していきたいです。」



仙台市立沖野中学校2年
今野 みずき さん

「実際に農作業をしてみて、農家の大変さを知ることができました。また、農業体験の当日が自分の誕生日だという話題になると、受け入れ農家の方が急きょ誕生会を開いてくれて、とても感動しました。ぜひまた美郷に来たいです。」



六郷高校1年
柴田 真理奈 さん

「ビニールハウスの中での農作業がこんなに大変だとは思いませんでした。体験を通じて、普段から当たり前のように農作業をこなしているおじいちゃんやおばあちゃんたちへの尊敬の気持ちが強まりました。」

農家の方の声

農業体験の受け入れ先として、積極的に人的交流を推進している美郷町都市農村交流推進協議会の会員の方々にお話を伺いました。



佐々木 竜孝さん(土崎北部)

「農業体験に訪れる子どもたちは、農業に全く触れたことがない子どもも多く、田園風景を見ただけでも大変喜んでくれたりもします。『農業を楽しんでみたい』という気持ちが強く、難儀な作業も元気に頑張ってくれます。作業の飲み込みの早さに感心します。作業を終えた後には自宅で美郷米を振る舞っています。『おいしい』と目を輝かせて口いっぱい頬張る様子は、生産者としてもうれしい瞬間です。農業体験は美郷の農産物を多くの人に知ってもらうチャンスでもあります。私たちも日々、米の品質や味の向上を目指しています。今後は、こうして生産した農産物をどのように多くの方に広め、心をつかむのが課題になってくると思います。」



高橋 智さん(明田地:仙南)

「農業体験は、自分たちが日ごろ食べている物がどのようにして作られているかを知る良い機会だと思います。農業に携わっていないと大人でも忘れがちになってしまうのが、多くの作業が施され、多くの人が携わってようやく食材としてテーブルに上がっていると、感じる事ができるのが、農業体験の魅力だと思います。今回は、子どもたちが収穫したアスパラガスを夕食のメニューに取り入れられました。植えて、育てて、収穫して食べるという流れに触れて、食に対して何かを感じるきっかけになってくれればうれしいですね。そのきっかけを広めるためにも、今後も農業体験の受け入れを続けていきたいです。」